

割り箸で植木鉢台をつくる

外に置く植木鉢は地面に直に置くより、鉢台に乗せた方が通風がよく湿気や病気、虫が避けられるのでとてもよいものです。

そこで、百元ショップで購入した「割り箸」と園芸用「カッティングはりがね」（税込 2 計 2 2 0 円）で鉢台 5 個と余りの割り箸で小鉢台 1 個、すだれ式敷置き 1 個を作ってみました。

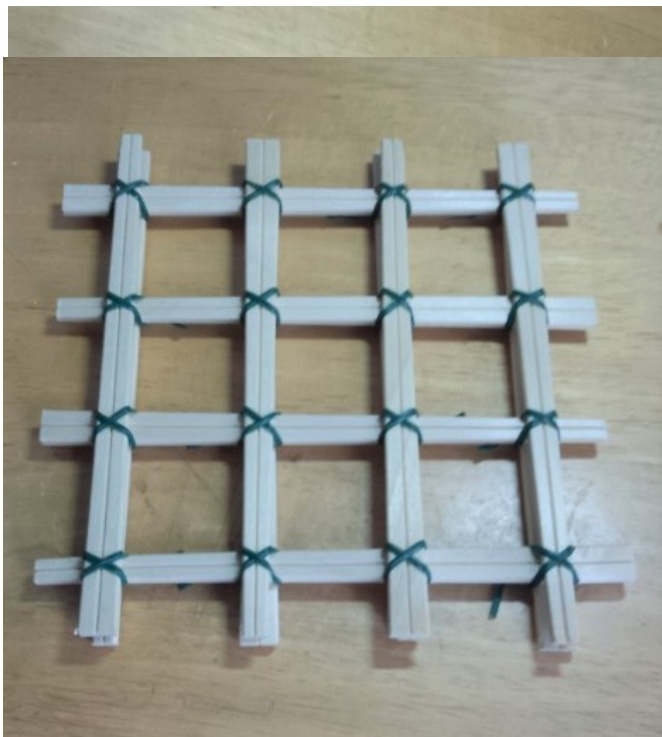
1. 材料



割り箸 70 本入り

園芸用カッティングはりがね
1 5 0 本入り

2. 作り方

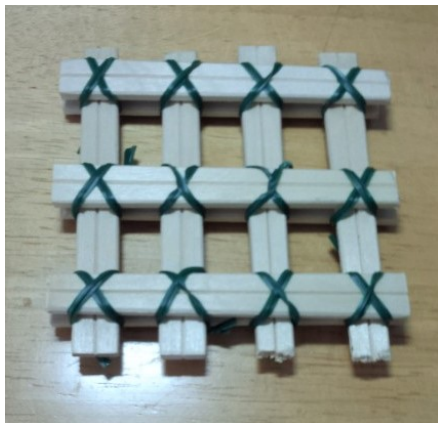


1 個に 1 2 本の割り箸を使用します。

割り箸を 4 本ずつ互い違いに 3 段に重ね、十字になったところをはりがねで十字にしてねじって止めます。

最初に重ねたところをのりやセメダインで仮り止めしてから針金でとめると楽にできます。

上下を統一してはりがねをねじって止める位置を下側にすると表面がきれいにできます。



割り箸の半端（10本）を利用する。

割り箸を半分に切ります。

太い方だけで3段に重ね小さい置台を作ります。

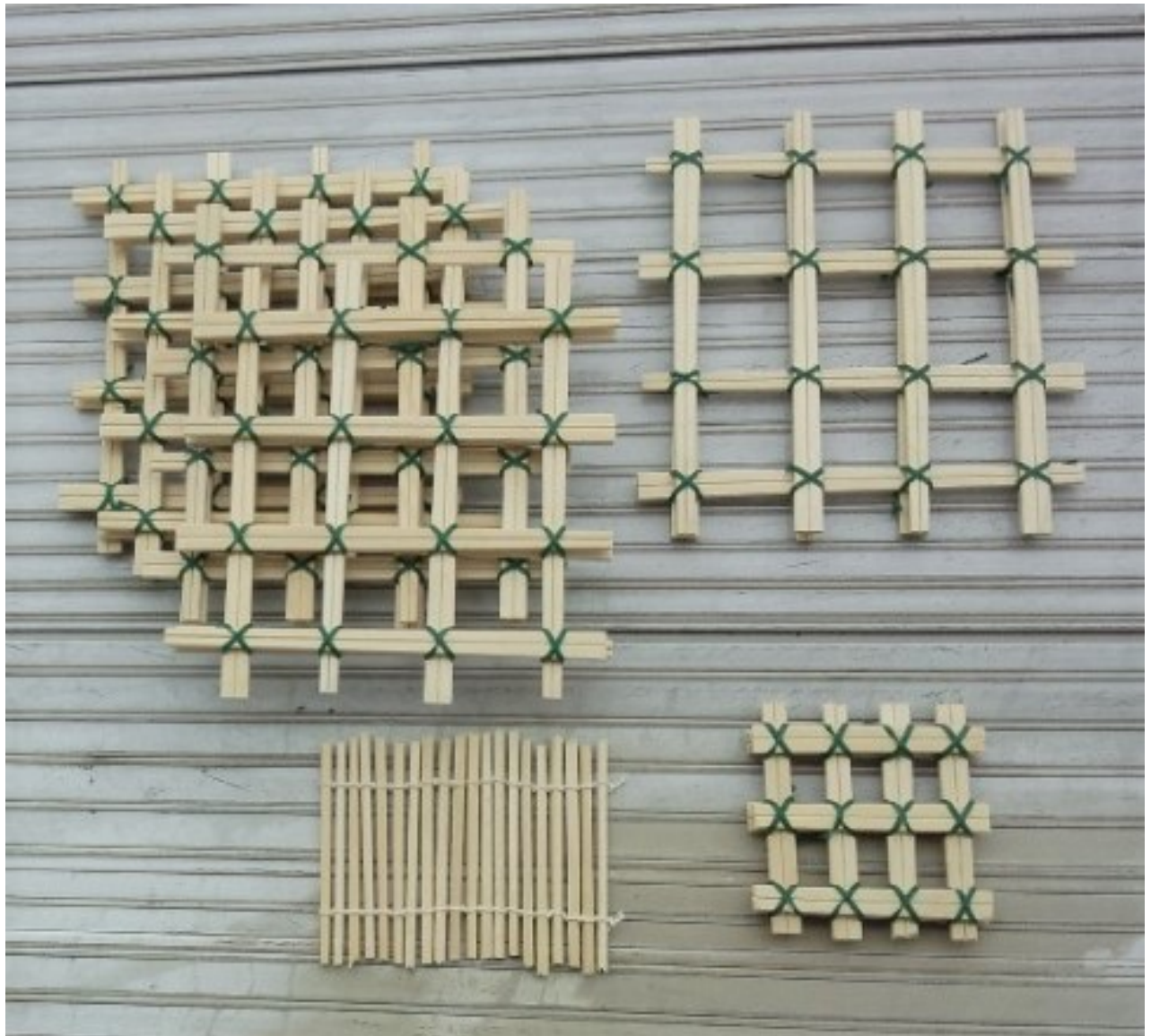
芸術的でもありますよね。



切った割り箸の細い方（細い方の本数は太い方の2倍）写真のように編む要領ですだれ状の敷台にします。

はりがねで編むとはりがねが短いので途中で繫いで作る。それが面倒なら写真のようにタコ糸を使うと便利です。

3. できあがり





ちなみに右端の鉢は見てもお分かりのように、割れてしまったので接着剤でくっつけて再生しました。

(おまけの話 1)

梅雨の合間にツツジとクルメツツジの剪定をした。このところ角を尖らせて剪定をしたためか、世の中で角がとがったことが多かった。これからはまるくおさまるように願いを込めて丸みをつけて剪定してみたがどうか。



(おまけの話 2)

植木鉢には底石を敷かないと風通しが悪く根腐れの原因になる。しかし、植え替えのときに、その底石はその上の土と混ざってしまって、土と石とを分別するのが面倒である。

繰り返し使える小分けした網袋入りの鉢底石も販売されているが、小分け袋 10 袋で 700 百円以上と高価なので、いつもは百円ショップの鉢底石を自分で小分けしているが、それに使うネット袋は流しの隅で使う水切りネットを使っていたが、その水切りネットは耐久性がなく 1 年も使うとぼろぼろになってしまうのが難である。

ある日百円ショップで、きめの細かい洗濯機用のネットを見つけたので、これなら耐久性もあるのではないかと



とレジ列の後ろに並んで待っていた。

すると私の後ろに並んでいたご婦人がじろじろと私の手許を見る。何故なのかなと考えてふと私の持っている洗濯ネット袋を見て気がついた。その袋にはなんと大きく「ランジェリーネット」と書いてあった。おまけに下の方にその絵まで書いてあった。そういう趣味の人と間違われていたのかと思うといたたまれなくなり、どうしようかと悩んだが、今さら返すのももっと恥ずかしいのでひたすらうつ向いたまま買って帰った。用途が違うのですと説明した方がよかったのかな？



ランジェリー洗い用ネットを小さく切って、ホチキスで袋状にして中に石を詰める。



ピンク色がなまめかしい。今度植え替える植木鉢の底石にはその小分け鉢底石を使う。
きっとあでやかな花を咲かせてくれるだろう。